



平窪の学舎



第2号

感染予防、そして楽しい学校生活を！

新学年が始まり、一週間がたちました。新型コロナウイルス感染防止には、教職員はもちろん、子どもたちも意識して取り組んでいます。検温、マスクの着用、うがい、手洗い、換気、間隔や時間を考慮したグループ活動、手で触れる箇所の消毒など…。日常とは違った、制限が伴う現在の生活の中では、子どもたちの不安やストレスは、大きなものであると考えます。そうした心情にも寄り添ってまいります。

授業・行事等の教育活動を行うにあたっては、①感染防止を第一に考える。②学習の定着や心身のストレス軽減(思いっきり体を動かす、楽しく活動する)等を図るため、実施可能と判断できる活動は行う。」等を基準に、実施・延期・中止等を判断してまいります。

なお、『運動会、遠足については、2学期に延期又は中止』とすることにしました。実施の可否及び時期等は、今後の状況や行事の重なり等を考慮し、判断してまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



交通事故から「大切な命を守る！！」

4月10日(金)の5校時に「校外子ども会」を開き、続いて「交通教室」を行いました。

「校外子ども会」では、「通学班での安全な登校」や「地区の危険な場所」、「校外生活の約束」などについて確認しました。

「交通教室」では、いわき中央警察署の渡部様から、6年生の代表児童に「家庭の交通安全推進員」の委嘱状が手渡され、代表児童が宣誓文を読み上げました。6年生一人一人が「家族や下級生の手本となり、交通安全への呼びかけを行っていく」ことを誓いました。また、渡部様から、交通安全・不審者への対応についてのお話をいただきました。

その後、教職員が付き添っての一斉下校を行いました。一斉下校では、「道路の安全な歩行と横断」について現場で再指導すると共に、危険な場所についての確認を行いました。

今後も、自分や他の人々の命(体と心)の大切さについて繰り返し指導する(「自分の命は自分で守る」「みんなの命をみんなで守る」など)とともに、子どもたち一人一人に、「危険予測・危険回避」の能力を養ってまいります。

ご家庭、地域におかれましても、交通安全をはじめ、命の大切さと、命を守るための行動等について、機会あるごとに繰り返しご指導くださるようお願いいたします。



